

## 情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 当院におけるアンビエントシステムの取り組みと有用性について

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 井村勇斗（画像診断部・診療放射線技師）

[研究の概要]

■ 目的・方法

研究期間：2026年4月3日～2026年9月30日

目的：当院で2023年に導入されたMRI装置（Ingenia Elition 3.0T）には、MRI検査中の快適な室内環境を提供するAmbient Experience（アンビエント エクスペリエンス）が搭載されています。特にMRI検査実施が難しいとされる非鎮静下での小児患者や閉所恐怖症患者、また隣接する聖隷予防検診センターから委託されている脳ドック受診者に対してAmbient Experience（アンビエント エクスペリエンス）が搭載されているMRI装置で検査を実施しています。

この研究ではMRI実施後にご協力いただいているアンビエント エクスペリエンスの使用感に関するアンケートの集計結果を集計し、Ambient Experience（アンビエント エクスペリエンス）の有用性について検証します。

方法：アンケートからの情報収集をもとに実施する後方視的な観察研究です。

■ 対象となる患者さん

2026年1月19日～2026年8月31日の期間で聖隷三方原病院のMRI装置（Ingenia Elition 3.0T）でアンビエントシステムを使用して頭部MRI検査後にアンケートへ回答された小児患者、閉所恐怖症患者および脳ドックMRI検査を受けた聖隷予防検診センター受診者の方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：対象とする患者より取得したアンケートの情報

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

井村勇斗、画像診断部

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971